

2026年2月期 第1四半期決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2025年7月11日

上場会社名 株式会社MS&Consulting 上場取引所 東
 コード番号 6555 URL https://www.msandc.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 秀敏
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役会長兼経営管理本部長 (氏名) 並木 昭憲 TEL 03(5649)1185
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	496	16.2	△72	—	△73	—	△43	—	△43	—	△36	—
2025年2月期第1四半期	427	11.1	△123	—	△124	—	△73	—	△73	—	△70	—

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2026年2月期第1四半期	△10	40	△10	40
2025年2月期第1四半期	△18	08	△18	08

(注) 2025年2月期第1四半期及び2026年2月期第1四半期の希薄化後1株当たり四半期損失については、新株予約権の行使が1株当たり四半期損失を減少させるため、潜在株式は希薄化効果を有していません。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円		百万円		百万円	%
2026年2月期第1四半期	3,375		2,604		2,641	78.2
2025年2月期	3,378		2,552		2,587	76.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 2 月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2026年 2 月期	－				
2026年 2 月期 (予想)		0.00	－	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

(注) 数字は、通期は対前期、四半期は対前年同期、四半期増減率										
	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期 利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	1,198	8.0	△8	－	△9	－	2	－	3	0.66
通期	2,746	7.6	247	－	245	－	151	－	151	35.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年2月期1Q	4,597,400株	2025年2月期	4,597,400株
2026年2月期1Q	348,601株	2025年2月期	561,001株
2026年2月期1Q	4,107,969株	2025年2月期1Q	4,026,333株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料について)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(第1四半期連結累計期間)	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、トランプ関税に対する警戒感、コメ価格に代表される物価上昇と実質賃金の低迷による節約志向の高まりなどによって、内需の牽引役である家計消費が伸び悩んでいることに加え、原材料価格等の企業物価や人手不足に伴う人件費の上昇などが企業経営を圧迫しており、当社の主要顧客である外食・小売などの内需型サービス産業においては、先行き不透明な環境が続いております。

このような環境下、基幹サービスである顧客満足度覆面調査「ミステリーショッピングリサーチ」(以下「MSR」という。)の売上収益は、前第1四半期と比較し20.3%増、SaaSは5.6%減、コンサルティング・その他(以下「コンサル」という。)は10.8%増となっております。以上の結果、売上収益で16.2%増、売上総利益が110.7%増、営業損益は51百万円増、親会社の所有者に帰属する当期損益は30百万円増となりました。

売上総利益は、モニター謝礼こそMSRの売上収益増に連動し16.0%増となったものの、「全社収益性改善」を掲げて取り組んできた、「価格及び条件緩和交渉によるMSR粗利率の回復」「AI活用によるレポートチェックコストの低減」「LINE活用や新モニターサイトの継続的改善に伴うモニターアサインコストの低減」「IT構成などの見直しによるコスト抑制」が奏功し、原価率が前第1四半期の89.3%から80.6%まで低減したことによるものです。

売上面では、前第1四半期と比較し、MSRは通常調査、海外関連調査、送客+調査型サービスの全てが順調に増加致しました。SaaSは外食日次決算システムbinoのサービス終了に伴い減少致しましたが、同サービスを早期終了したことで今期7百万円のコストダウンが見込まれます。また、SaaSの中で注力分野である従業員エンゲージメント調査「チームアンケート」は14.1%増となっております。コンサルは通常コンサルが18.7%増、補助金・助成金支援分野も新たな制度への対応によって回復傾向となりました。並行して傾注すべき新サービス分野の取捨選択を行っております。

一方、受注高においては、MSRの大型継続案件の受注が前第4四半期に計上されるなどの受注タイミング(期ズレ)の問題とbinoのサービス終了等によって、前第1四半期と比較し、全体で10.6%減となっておりますが、第1四半期終了時点における、上半期の売上収益予想に対する「第1四半期の売上収益+第2四半期計上予定の受注残」の充足率は79.5%となっております。

生産面では、1レポートあたり生産性の改善を継続・強化するとともに、新たに引き合いが生まれている東アジア・東南アジア地域におけるモニター基盤やオペレーションの構築などを進めて参ります。

管理面では、前第1四半期と比較し、原価が4.9%増、販売費及び一般管理費が0.8%減となりました。原価は、上記の通りモニター謝礼総額は増加したものの、労務費・外注費が低減、賃借料も抑制されております。一方、販売費及び一般管理費は新規採用・昇給にともなって人件費は上昇したものの、全社マネジメント体制の強化により、旅費交通費・接待交際費・貸倒引当金繰入額等が減少致しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益496,048千円(前年同期比69,339千円増)、営業損失72,291千円(前年同期は123,374千円の営業損失)、税引前四半期損失72,895千円(前年同期は123,765千円の税引前四半期損失)、親会社の所有者に帰属する四半期損失42,743千円(前年同期は72,801千円の親会社の所有者に帰属する四半期損失)となりました。

なお、当社グループはミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、主に現金及び現金同等物が126,978千円、棚卸資産が15,988千円、繰延税金資産が23,482千円増加したものの、営業債権及びその他の債権が154,394千円、その他の流動資産が13,080千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて3,244千円減少し、3,375,033千円となりました。

負債については、主に営業債務及びその他の債務が30,446千円増加したものの、借入金が27,480千円、未払法人所得税等が35,172千円、その他の流動負債が14,717千円、リース負債が8,757千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて55,510千円減少し、770,886千円となりました。

資本については、自己株式の処分に伴う資本剰余金の減少47,394千円、親会社の所有者に帰属する四半期損失の計上等に伴う利益剰余金の減少56,777千円があったものの、その他の資本の構成要素の増加21,657千円、自己株式の処分135,752千円があったこと等により、前連結会計年度末に比べて52,266千円増加し、2,604,146千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ126,978千円増加し、705,908千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、98,976千円の収入(前年同期比79,118千円減)となりました。これは、税引前四半期損失の計上72,895千円、法人所得税の支払額27,017千円、棚卸資産の増加額15,988千円があったものの、減価償却費及び償却費の計上31,380千円、営業債権及びその他の債権の減少155,186千円、営業債務及びその他の債務の増加29,304千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、25,010千円の支出(前年同期比12,517千円減)となりました。これは、資本性金融商品の売却による収入10,275千円があったものの、無形資産の取得による支出32,755千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、52,362千円の収入(前年同期は51,034千円の支出)となりました。これは、短期借入金の返済27,480千円、リース負債の返済による支出8,516千円があったものの、自己株式の処分による収入88,358千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月14日の「2025年2月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	578,930	705,908
営業債権及びその他の債権	454,429	300,035
その他の金融資産	500	500
棚卸資産	8,071	24,059
その他の流動資産	46,573	33,493
流動資産合計	1,088,503	1,063,995
非流動資産		
有形固定資産	31,420	29,417
使用権資産	64,855	56,267
のれん	1,825,582	1,825,582
その他の無形資産	292,196	303,963
その他の金融資産	45,636	42,242
繰延税金資産	30,085	53,567
非流動資産合計	2,289,774	2,311,038
資産合計	3,378,277	3,375,033
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	145,840	118,360
リース負債	33,262	31,793
営業債務及びその他の債務	518,439	548,885
未払法人所得税等	35,921	749
引当金	11,823	11,823
その他の流動負債	32,949	18,232
流動負債合計	778,233	729,841
非流動負債		
リース負債	29,075	21,788
引当金	18,576	18,588
繰延税金負債	513	670
非流動負債合計	48,163	41,045
負債合計	826,397	770,886
資本		
資本金	78,115	78,115
資本剰余金	2,041,170	1,993,776
自己株式	△358,555	△222,803
その他の資本の構成要素	△36,268	△14,611
利益剰余金	862,804	806,027
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,587,265	2,640,504
非支配持分	△35,385	△36,358
資本合計	2,551,880	2,604,146
負債及び資本合計	3,378,277	3,375,033

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上収益	426,709	496,048
売上原価	△381,012	△399,743
売上総利益	45,697	96,305
販売費及び一般管理費	△173,259	△171,878
その他の収益	4,187	3,282
営業損失 (△)	△123,374	△72,291
金融費用	△391	△604
税引前四半期損失 (△)	△123,765	△72,895
法人所得税費用	50,494	29,423
四半期損失 (△)	△73,270	△43,471
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	3,975	6,007
純損益に振り替えられることのない 項目合計	3,975	6,007
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△935	1,372
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△935	1,372
税引後その他の包括利益	3,040	7,379
四半期包括利益	△70,230	△36,092
四半期損失 (△) の帰属		
親会社の所有者	△72,801	△42,743
非支配持分	△469	△728
四半期損失 (△)	△73,270	△43,471
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△69,042	△35,120
非支配持分	△1,188	△973
四半期包括利益	△70,230	△36,092
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期損失 (△) (円)	△18.08	△10.40
希薄化後1株当たり四半期損失 (△) (円)	△18.08	△10.40

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2024年3月1日時点の残高	74,540	2,037,731	△364,691	△26,472	1,138,903	2,860,010	△34,013	2,825,998
四半期損失(△)	—	—	—	—	△72,801	△72,801	△469	△73,270
その他の包括利益	—	—	—	3,759	—	3,759	△719	3,040
四半期包括利益合計	—	—	—	3,759	△72,801	△69,042	△1,188	△70,230
新株の発行	3,575	3,575	—	—	—	7,150	—	7,150
所有者との取引額合計	3,575	3,575	—	—	—	7,150	—	7,150
2024年5月31日時点の残高	78,115	2,041,306	△364,691	△22,713	1,066,102	2,798,118	△35,201	2,762,917

親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2025年3月1日時点の残高	78,115	2,041,170	△358,555	△36,268	862,804	2,587,265	△35,385	2,551,880
四半期損失(△)	—	—	—	—	△42,743	△42,743	△728	△43,471
その他の包括利益	—	—	—	7,623	—	7,623	△244	7,379
四半期包括利益合計	—	—	—	7,623	△42,743	△35,120	△973	△36,092
自己株式の処分	—	△47,394	135,752	—	—	88,358	—	88,358
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	14,035	△14,035	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△47,394	135,752	14,035	△14,035	88,358	—	88,358
2025年5月31日時点の残高	78,115	1,993,776	△222,803	△14,611	806,027	2,640,504	△36,358	2,604,146

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期損失 (△)	△123,765	△72,895
減価償却費及び償却費	26,986	31,380
金融費用	210	400
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△18,239	△15,988
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	249,026	155,186
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	29,262	29,304
その他	15,090	△995
小計	178,569	126,392
利息の支払額	△210	△399
法人所得税の支払額	△265	△27,017
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,094	98,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,288	—
無形資産の取得による支出	△32,239	△32,755
資本性金融商品の売却による収入	—	10,275
その他	—	△2,530
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,527	△25,010
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	△27,480
株式の発行による収入	7,150	—
自己株式の処分による収入	—	88,358
リース負債の返済による支出	△8,184	△8,516
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,034	52,362
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	89,533	126,328
現金及び現金同等物の期首残高	329,697	578,930
現金及び現金同等物に係る換算差額	△259	651
現金及び現金同等物の四半期末残高	418,972	705,908

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、ミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。